夕刊
九月十七日發行
（月曜日休刊）
東京振替一〇八〇五六五番

秋雜感

（上）

茂田井敎亭

毎年堀の内の千部に出てゐるせゐか、千部が終ると急に秋だといふ感がする。暦の上からいへば已に八月の初旬から秋に入つてゐるのだが、實際秋といふ季節感は九月の聲を聞いてからである。縁に射込んでくる日射もめつきり縁に近づいて來、芙蓉の花が朝露を含んで庭の隅に點綴してくると私は熟秋だと思ふ。近頃は廣告の文句なども非常に上手になつて、食料品、どの廣告にはよく味覺の秋といふや、なのを見るが本統の味覺は何といつても秋であらう。秋の果實は慥かに味覺の王座である。味覺に限らず凡て季節的感覺し、秋が一番鋭いやうに思ふ。くつきり澄んだ空の色はつきり陰翳をつけた物の影、春の模糊に對する秋の明澄は何人にも強く季節といふものを與へるであらう。

季語といふものゝ拘束を受けてゐない短歌は別であるが、季感が一句の中心生命をなしてゐる俳句の如きものが、四季を通じて何といつても秋の句に傑れたものゝ多いのも、如上の理由からであらう。勿論、春の句夏の句などによいものがないといふのではないが、秋の句に傑が多いと思はれるのは、或は俳句の有つ本質の然らしめるのではあるまいか。斯ういふ見方は或は俳句を一個の概念的に見てゐるに過ぎないとでもいはるゝであらう。草城氏の句の如き[illegible]現象を示してゐるとでもいはるゝであらう。併し私のやうな舊い考へを有つてゐる者には、矢張俳句の特味はさうではないやうに思はれる。短詩と呼ぶには相應しいが、俳句とよぶにはどうかと思はれるものが存外多いのではあるまいか。尤もさう見る事が已に概念化であるといはれゝばそれ迄である。

○

過日島田惣夫氏の父君の小祥忌に招かれて一日お邪魔した。加藤君にも會へたし、思ひがけなく林古溪先生にもお會ひすることが出きて近頃の樂しい日であつた。氏の今度の新居は庭もあつ、間取もよく、非常に感じのよいお住居である。ビールを御馳走になつたか別にさういふのではないか、家具調度に至る迄當家であると同時に詩人である氏の心配りが現れてゐ、嬉しかつた。庭には幾種類かの秋草が作られてあつた。

花莖に頸は濡れたる忌日かな

9月18日
△文壇の耆宿徳富芦花逝く（昭和二）
△滿洲事變起る（同六）

○
各自の天性に適合する最上の職業に從事し、死期に臨み、恣も遺憾なき生活をなせ　シドニー・スミス

土田華岳氏送別句會　互選句集

秋田に近く婆風山あり
○新涼や芋の葉末の細き雨　関谷含翠
○牧の夕牛點々と秋涼し　同人
○身ぐりに新材の香や秋涼し　石井陽光
○傾きたる脱衣場や秋涼し　猪狩春風
○新涼やタイプ打つ娘のルージュ濃、　大和田水明
○夕づつやどくだみ白く秋涼し　同人
○新涼や模型ヨットに人集ふ　同人
○新涼の亭に提灯し置く　同人
　荒川沖競馬
○新涼や騎手しづ／＼と輪乘す　同人

連續講談 異說赤穗浪士

別題『異說赤穗義士』（赤穗誠忠錄）

[10]　桃川若燕　畫　城木喬

無念の涙

上野の腹の中では今日こそ叱りつけてやらう、若し今日勅使に對して不敬の事あらば氣の毒だが、彼の家に傷が付く、輕くて閉門は免れない、ニンマリ底氣味の悪い笑ひを浮べながら玄關へ入る。お師匠番と云ふ格で内匠頭殷懃に出迎へる、上野介は行院を目ると正面には盛砂がしてあり、提灯眼番が出來て、玄關に至るまで美事に行き届いて居る。

「ハテナ、昨日の夕方までの様子を見るに別段の支度もなかつたが、前夜の內に斯様に支度を致したか—」

と、不審に驅られながら內に入る。

「イヤこれも表向きであらう、廣間お書院表書院大奥等の天井疊替お小便所等まで行き届く筈はない——」

と思ひ乍ら檢分をして見ると驚いた。疊替はおろか柱まで灰汁洗ひをして何處から何處まで少しの手落しなく行き届いてゐる。

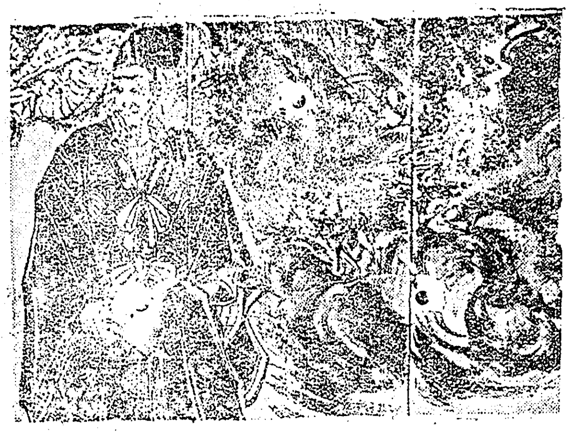
「さて／＼内匠頭殿はよく行き届いた事である、何と金銀といふものは結構なものでござるの、品川氏肝心の活きた金は使はないで、死んだ金のみを使ひなさる内匠頭は内福と云ふ、内福ならば少しは活きた金を使つたらば好からうと存ずる」

上野介惜まれ口をきゝながら何も落度を探すやうに四方に眼を配る。

その内にお屏風に眼をつけ。

「アイヤ内匠殿、この屏風は何人の筆でござるかの」

「されば、先祖長政が太閤殿下より拜領致したる法眼元信の筆でございます」



「ホ、ウ、元信の筆とな、結構なものだ」

と傍へ近寄り熟と眼を止めてゐたが、

「法眼元信の筆ならば拙者も所藏致し居る故筆勢はよく存じ居るがこれは偽物で、斯様な偽物を立て置いては第一公卿當上方お物笑ひに相成る、さすれば將軍家のお恥辱、斯様な見苦しいものを飾り置くは罷りならぬ、察するところ長政殿は元は百姓の成り上り、何も知らぬ田夫野人であるため太閤殿下が斯る偽物を元信の筆などゝ[illegible]てお賜りつゝもなでゐらゝ、それを代々の方が眞實と心得て居るとはヤレ／＼お氣の毒の次第、先づ此の落款から、大違ひだ」

と亂暴にも扇を逆に握ると要を以つてブツリと紙を破り、

「アッハッハッ——」

と高笑ひした。

此の傍若無人の擧動に憤然とした内匠頭は、

「己ればかりではない、先祖彈正大弼長政公までに恥辱を加へるとは不埒な奴——」

ブル／＼身震ひした思はず小刀に手を掛ける。

と此の時背後からグイ／＼と袖を引く者があるからヒヨイと回顧ると堀部彌兵衛が頭を下げ。

「何卒御我慢を——」

と云はぬばかりの様子をしてゐる。それを見ると內匠頭もハッと我に返つたが余りの口惜しさに思はず眼頭を熱する。

上野介は更に容赦なく

「アッハッハッ——淺野家はよくもこんな偽物を大切に保存したものだの、これでは先祖の恥を多數の人に見せるやうなものだ——品川氏御覽あれ、こんな描き方が法眼元信でござらうか呆れて物が云へぬアッハッハッ此の龍の眼が氣に入らぬ」

「粗末な品とあればお取り替へ仕る……コレ取り片付けよ」

「ハッ」

と答へて係りの者が下げ無地の屏風を代りに立てる。

「アッハッハッ、イヤ違つたものだの死金といふのはこれを申すのでござらう」

小兒科・內科
酒井醫院
入院隨時
平市南町（電五五番）
醫學博士 酒井保

平市田町
高久病院（電話五三一番）
醫學士 高久忠
新潟醫學士 赤羽清
藥劑士 佐竹健雄
內科 小兒科
外科 花柳病科
耳鼻咽喉科
（看護婦至急募集）

江戸前
壽しと小料理
平驛中央通り
出前迅速（立食）
すし茂
電（呼）五七〇番

開院廣告
內科 外科
平市六丁目
叶多醫院
電三九二

◇和文歐文タイプライター
◇最新事務用品類
◇文房具一式
◇製圖並に測量用品
◇謄寫版並に附屬品
平市田町銀座街
東邦タイプライター代理店
東邦タイピスト養成所
藤森
電話三七〇〇
振替仙臺五一一番
〔藤森事務用器商會〕

精神病科
腦脊髓病科
神經病科
內務省指定
福島縣立代用精神病院
郡山驛より約三十丁 安積中學より約五丁
郡山腦病院
郡山市外大槻村針生
電話九二五番
入院隨時
院長 醫學士 金森五郎

開院
外科一般
內臟外科
整形外科
肛門病科
性病科
レントゲン科
平市南町（平郵便局本局裏通り）
上田外科醫院
院長 上田耕作
電話一二九番

鑑定項目
名前のみて一代の運命
何んでもわかる……
體力（肉體・疾病）（健康、不健康、相貌）（病根病勢、病名）に關する一切
活動（職業・天運）（適業、不適業）（天運、成功、不成功、災厄）に關する一切
血緣（家族運・男女緣）（父母の緣、夫婦の緣、子供の緣）有無（氣質、相性、相剋、婚期方位に關する一切）
銀行、會社名、商號、家號、會名、雅號、藝名、養子、養女、姓名、生兒名
日本姓名學會東北支部長
鵜沼孝昌
平市紺屋町三六

平病院（平市元共濟病院跡 電話六四一番）
院主 院長 醫學博士 鈴木定藏
內科 小兒科　副院長 鈴木定藏
內臟外科 一般外科　副院長 高橋俊幸
皮膚泌尿器科 レントゲン科 物理的療法科　院長 鈴木定藏
藥劑科　部長 吉本孝平
診療時間……每日午前八時ヨリ午後九時迄、夜間診療ニ從事ス（急患ハ此ノ限リニアラズ）

內臟外科
整形外科
レントゲン科
醫學博士 松村亨
松村外科
平市町南 松村醫院外科部

生花教授
池ノ坊
生花を懇切丁寧に御教授いたします、お遊びがてら御出で下さい。
平市四丁目和泉屋旅館
須藤まつの

西村屋藥局
電話三番です
藥品百貨と
寫眞機材料の店です
平市本町二丁目
西村屋藥局

產科 婦人科
（物理療法科併置）
病室・手術室完備
醫學博士 五十嵐雄二
（入院隨時）
平市新川町（電話三六九番）

味自まん
米屋の最中
最中屋が此の度び御茶受御土産として
味自まん どらやき
風味 御土産 三色羊羹
を始めました、どうぞ最中と同樣御贔負願ひます。
平驛前通り
米屋最中店

食事。喫茶。酒場を兼ねた
レストラン
サロン
平市銀座街
電話五九二
營業時間
開店…午前十時
御食事は午前十一時より
閉店…午後十一時限り

外科一般
內臟外科
肛門病科
皮膚科
泌尿生殖器科（婦人科・性病科）
專門
平市字鎌田町
白土醫院
電二七九
（入院隨意）
看護婦及見習看護婦 募集

北海道から進出して 本縣の既得地盤蠶食

立澤平職業紹介所長の求人行脚歸來談

立澤平職業紹介所長は既報の如く炭礦、土木關係乃至漁業等の各方面に亘り、殆ど底止する處無き當面の求人殺到に對處すべく七日秋田に於ける季節勞務者會議と十日青森で開かれた某方面の要員會議に出席の序を以て磐城、入山、古河、大日本各炭礦勞務係員と共に去る五日以來東北五縣廳及び其の縣下主要紹介所を歴訪、此程歸所したが前後十日間の求人行脚に就て同所長は語る

各方面とも人的資源の枯渇は時節柄當然のことゝして怪しむに足らぬが今回の旅行で痛感したのは人手の充足上從來本縣の勢力地盤であつた青森、秋田、岩手各地方に北海道が著しく進出して居ることで、此の點當地方として些か立ち遲れの氣味があり、之が挽回に就て少からず考へさせられたので關係各縣及び紹介所に就ては向後斡旋を受くる上に於て縷々諒解を求め極力食ひ止め策を講じて來たが今後各炭礦から出向いての實際開拓がどの程度に成果を收めるかは時節柄一寸豫想つかぬがこの外漁業方面の雜夫や杜氏などの事も併せ夫々頼み込んで來た。云々

宿の朝飯はおかゆ 其も丼一杯の渡し切り

立澤所長旅行先の節米況

今回の旅行經過地に於ける節米狀態に就て立澤所長は語る

各地とも夫々極力節米の國策に順應してゐるのは云ふ迄も無いが、就中秋田岩手兩縣下の旅館では朝餐は何處でもお粥でありそれが丼で渡し切りと云ふ徹底振りである。本縣の如く一人當り幾らの制限は無いが事實上の節米は制限を附した以上に實踐されてゐる事と思ふ酒は一人二本(二合位)で當地と殆ど同じ樣である

思ひを九年前に 記念行事の數々

あす滿洲事變勃發の日

戰時下に九たびめぐり來る明十八日の滿洲事變記念日には既報在郷軍人會が銃後國民に非常時意識を喚起せんとする一般實彈射擊大會を神谷原部並に泉崎の射擊場でまた石城經濟更生組合では秋空にいなゝく颯爽たる軍用保護馬鍛錬競技會(平工業敷地)を催す外中小各學校では思ひ〳〵の催しに「この日」を意義づけ

市では青沼市長の名で前線及び關係各方面に感謝慰問の電報を打つ

經更記念日を強調

實踐六項目通牒

郡農會では來月六日の第七回經濟更生記念日に當り農村經濟運營の組織化をはかるべく郡內各町村に左記六項目を實施するやう通牒す

一、經濟更生講演會
二、銃後施設展覽會
三、篤行及び功勞者表彰
四、米の供出勵行
五、記念植樹勵行
六、勤勞奉仕その他適當な事業實施

兒童英靈墓所詣り

市內各小學校では今年もた彼岸の一日、市內戰死者と亡師のお墓詣りをするが小名濱小學校でも二十一日行ふ

戰死者の墓所詣り

市では二十三日の彼岸中日當日方面委員並に軍人遺家族身上相談人と共に四班に分れ市內戰死者の墓所に詣づる

電話は低落か?

千八百圓に幻滅の秋 新体制に他地の實例

平市內の電話は從來曾て無い深刻な飢饉振りにその買價格が何時の間にか釣り上げられ、昨今では實に千八百圓の高値を稱ふるに至つたが、同業の强力なる結合を目的とする有限會社の創設乃至各種組合の合同等新体制による各方面の機構改組から、個人の店舗工場には從來の如く電話を必要とせぬ事情が醸成されつつあり、既に隣縣某地の如き遂い先頃迄千六百圓台に在つたのが此の關係から急轉六、七百圓にガタ落ちした實例がある程で、方面によつては之れと共通の事情が無いではない當地としても値だんの一大低落は決してゆるされぬ想像ではなく滿を持して天井知らずの値上りを待つてゐた一部所有者に幻滅の時期到來が必至と觀られてゐる

江名蒲鉾工組結成

江名、豊間兩町の蒲鉾製造業者は今回一丸となつて江名蒲鉾工業組合を結成、斯道の改正發達をはかる 一口二十圓、總口數百二十二で事務所は江名町北町一三三番地

夏秋蠶掃立況

蠶業取締平支所調査の市郡下夏秋蠶掃立數量左の如く繭價安を見越して市部は減量

△石城白一二四、九五六グラム黃なし(昨年對比三分四厘增)△平白四六二〇グラム黃なし(同一分五厘減)

行け滿洲の沃野へ

石城分郷創建普及

滿洲の沃野へ石城分郷村建設を强調する滿洲開拓講演映畫會は左の日割で開くが講師は開拓團長小野吉太郎氏と縣座澤主事補

十八日高久、十九日玉川
二十日泉、二十一日渡邊
二十二日田人

同房の男から盜む

呆れた大工

既報、上京すべく平驛で待合せ中の赤井村小學校訓導矢野つねさんの現金三十圓入りのハンドバックを盜んだ大野村生れ四倉町本町鈴木一方大工片寄某(三〇)は平署に留置場生活中同房の入山坑夫酒井一郎の腕時計を盜み洋服の中に隱し持つてゐた外今年二月九日四倉町の隣家佐川洋服店から十五圓、八月十九日平館で映畫見物の歸りと同月二十九平局前で自轉車各一台を盜んだことと判り近く送局され

內地に味ふお盆氣分

安息休養の炭礦在住半島同胞で 昨十六日の市內賑ふ

地方各炭礦に於ける半島同胞從業員に對する誘掖指導振りは常に懇切周到を極め內半融和の徹底を期して居る處から近來同化の成績見るべきものあり、一個訓練を積むに隨つて作業の能率も大に向上し最近では月百圓乃至百五十圓の稼ぎ高に貯蓄郷里への送金等會社の指導督勵によつて漸次生活の落着きを見せてゐるが、刻下の增産に在つて勞作の一面常に適度の安息休養が必要であり其れには或る程度迄半島の民俗習俗を取り入れたものであらねばと云ふ建て前から、入山その他では昨十六日が半島の舊盆で祖先の祭祀に一日を安息する解放日なるに鑑み、前十五日の盆休をこれに繰り下げ一日を休養せしめたので一同は晴れやかな氣分で朝來市內に繰り込み、各自思ひ〳〵の一日を過ごしたので昨日の市內はこれら同胞で常に無き賑ひを見せた

講習と共同井戸調べ

保健所の傳染病豫防施設

平保健所では傳染病豫防と環境衞生徹底のため二十六日高久村を皮切りに管內各町村の衞生係長、同世話係りを招集衞生思想普及指導講習會を開く一方目下管內共同井戸の調査や水質試驗を行つてゐる

廢品獻納進む

昨日は古鍛冶から寄託

市內各愛婦分會では福本知事夫人を首班とする資源品獻納運動に參加し、去月末來一戶一品原則に各家庭から指輪、帶留、カフス釦、ネクタイピン等の死藏品を取り纏めて來たが去る五日の期限後今日に至る迄運動を續けた結果昨今漸く市役所へ寄託されはじめ、昨十六日は古鍛冶町の分が屆けられた

既に五百余圓分 寄託さる

力强い銃後民の自覺

市內愛婦各分會では別項の如く資源品獻納運動に乘り出し目下活動を續けてゐるが既に材木町、堂の前、八幡小路、二丁目、才槌小路、杉平、舊城跡、中町、鍛冶町、研古、南町の各分會から約五、六百圓分が市役所に寄託され、力强い銃後民の自覺を語つて居り全市各分會の分が纏れば優に千圓を突破するだらうと市當局では各分會幹部の努力に感謝してゐる

鈴木氏表彰さる

大浦村鈴木幸重氏は十六日關島市公會堂で行はれた軍馬祭で表彰された

互樂會例會

地方棋客の集り互樂會第十九回例會は來る二十日市內五丁目吉田屋に於て開催多數參加を歡迎すると

白水願成寺再建計劃

工費二萬七千の寄附募集

今年一月十三日炎上した內郷村白水願成寺では本堂庫裡の再建運動に乘り出すべく縣に寄附金募集願を出したが此程許可されたので直に準備に入つたがその工費は本堂二萬三千五百七十八圓三十一錢庫裡及び繁飾四千四百十六圓六十四錢合計二萬七千九百九十四圓九十五錢であると

寄附

小名濱青年第四分團幹部員吉田公安、柳內勇、齋藤喜一郎の三君は同町第二校へ大時計(八十圓)を寄附

陸軍大尉永島舊磐女校教諭校葬席上

謹詠　小野務平

謹奠靈前薦藻蘋
滿堂士女欷歔頻
昨推多識育英績
今仰千秋護國神

平市慶弔錄

△出生、本籍四町目三八內郷村白水字川平六七白土喜賀氏二男邦夫君、本籍紺屋町五八東京市荏原區戶越町一、一九四秋山市郎氏三男守之君、四軒町八林國太郎氏二女靜さん

○婚姻　本籍古鍛冶町一〇朝鮮咸鏡南道咸興府榮町官舍五號平澤耕作氏(三五)と長崎縣下縣郡嚴原町大字機原一八菅井美智代さん(二九)

△死亡　上平窪字十文田一〇根本悅子さん(三)

陣中を聽く (843)

生死の境を潜り乍ら 未だ此の元氣で奮勵

市內出身　渡邊松男君(信通)

暑中御見舞申します。其後は思ひ乍らも戰闘の爲御無沙汰致し誠に由譯ありません、悪からず御許し下

旺盛なる銃後皆樣には相變らず御元氣にてお暮らし居なさる事と存じます。不肖もお蔭樣にて上陸以來幾度の戰闘ト全く紙一重の生死の境を潜り乍ら未だに此の元氣にて軍務に精勵致し居りますから他事乍ら御休心下さい。

過日は御懇篤なる御慰問袋預かりまして一同に有り難く御禮申上げます。旺盛なる銃後皆樣の熱意の程も明かに窺はれ大に意を强く致して居ります。又結構なるお贈り物には激戰の疲れも打ち忘れ喜びが身に餘り有り難く温きお言葉にその身は戰線に在るを忘れて暫し感淚、咽び此上の厚き銃後皆樣を肝に銘じて忘れず、一死報國以て東亞樂土建設に一生懸命に戰ひます。

又慰問袋を手に!躍り上り、子供の樣に喜ぶ戰友の姿を一目お目に掛け度い樣です。

我らは今一番の警備に就じて居ります。白敵と睨み合つての勤務は全く毎日夜です、又勤務以外の時は本當に暇なので遊び乍らの趣味にクリークに飛び込んで魚捕りなどやつて居ります。海の魚の居かない山の中に在つてはこんな魚でも矢張り魚は魚です、これを捕へて來ておかずにすると一同飯を食ひ込んで困ります 斯く云ふ俺も海岸で育つたせいか、矢張り魚があれば美味く食べられます。

身は戰場外に在る樣な氣分になることもあります、戰闘間の樣に苦勞もない代りに戰地の面白味も亦此所では味ふことが出來ませんこの頃の日常はこんなものです先は惡筆にて御禮旁々近況お知らせ迄。早々

拈華微笑

秋刀魚丈けと思つたら何時の間にか北海道から勞務開拓南下

□

丼一杯のお粥渡し切りと云ふのがある、二合七勺は未だ皷腹擊攘の方だ

□

半島同胞のお盆に一日の休養。人情の機微、この手で人を導け

□

モシモシ、千八百圓が浮雲いそうです

□

八幡樣が過ぎて梨子の味も本格に、秋徐ろに深みゆく。

十八日

【小名濱測候所觀測】
滿潮　前五、二〇　後五、〇五
干潮　前一一、四〇　後一一、一五

舊八月十七日　水曜　甲子　赤口　平　箕宿　新九月十八日

▲一白　安樂を戒め努力をなしきされば大吉と成る▲二黑　何事にも手堅く一歩一歩と進むが安全の日▲三碧　投機心を起さず空想にふけらず常業大切の日▲四綠　依頼心を去り己が力を以てあせらず進むに吉▲五黃　無理の競爭は失敗を招く着實漸進すべし▲六白　表てに現れざる苦勞のひそむ日しん佛まうでが吉▲七赤　一波去れば一浪又追ひ來るあせらば破れの基▲八白　目上と齟齬を生じ易き日兎角平和が勝なり▲九紫　目上の引立てありほうばいの助けもある幸運日

天氣豫報

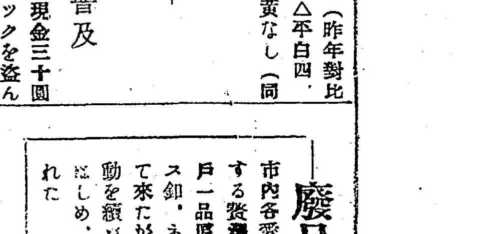
小名濱測候所發表

今晚　北東の風曇驟雨模樣
明日　同

おでんさ
ヤキトリ
一柳
田町末廣トナリ

田毎の
おしること
おぞうに
中田町電632

メガネ專門の店



メガネは絕對信用ある當店に
先づ御相談下さい…………
平市本町二丁目　玉屋

耳鼻咽喉科專門
醫學士　鈴木正勝
平市田町(電話六一三番)
藤田女學校前
「入院のお需めに應ず」
(看護婦及び見習看護婦募集)
齒科口腔外科
日本齒科醫學士　鈴木喜政
鈴木醫院
內郷村高坂磐炭病院前

吸入用酸素　純度99%
度量衡
モノサシ
マス
ハカリ
計量器
体温器
寒暖計
秤ノ取締　硝子・錘　修繕致シマス。
關內藥局
電話四〇番

中等學校制服……大特賣
高島屋の洋服
男女學生服
新入荷
並ニ注文既製品
高島屋
平市二丁目
電話三八六番

配達さん募集
市內居住・尋六乃至高等科生
磐城新聞社